

2026年2月6日  
昭和産業株式会社

## 2026年3月期 第3四半期決算の発表について

昭和産業株式会社（代表取締役社長執行役員：塚越英行）の2026年3月期第3四半期連結決算は、売上高254,522百万円、営業利益10,006百万円、経常利益12,014百万円となりました。2026年3月期連結業績予想については、売上高340,000百万円、営業利益11,000百万円、経常利益13,000百万円を見込んでおります。

### 【2026年3月期第3四半期連結決算】

当第3四半期連結累計期間の我が国経済は、雇用・所得環境の改善等により、緩やかな回復基調となっております。

しかしながら、物価上昇による消費者の節約志向の一層の高まりや、原材料価格やエネルギー価格の高騰、物流コスト・人件費の増加に加え、米国の関税政策などの動向による世界経済への影響や長期化する不安定な国際情勢などもあり、インバウンド消費等も含めて依然として先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社は創立90周年を迎える2025年度のありたい姿（長期ビジョン）「SHOWA Next Stage for 2025」の実現に向け、3rd Stage「中期経営計画23-25」を2023年4月にスタートし、基本コンセプト『SHOWAの“SHIN-KA”宣言～90年、そしてその先へ～』を掲げ、5つの基本戦略「①基盤事業の強化」「②事業領域の拡大」「③環境負荷の低減」「④プラットフォームの再構築」「⑤ステークホルダーエンゲージメントの強化」の各施策を推進しております。

当第3四半期連結累計期間の経営成績は、連結売上高は254,522百万円と前年同期に比べ1,147百万円（0.4%）の減収となりました。営業利益は10,006百万円と前年同期に比べ260百万円（2.7%）の増益、経常利益は12,014百万円と前年同期に比べ32百万円（0.3%）の減益、親会社株主に帰属する四半期純利益は8,943百万円と前年同期に比べ1,453百万円（14.0%）の減益となりました。

### 【2026年3月期連結業績予想】

第4四半期以降も不安定な国際情勢、為替相場の動向、原料価格及びエネルギー価格の高騰、物価上昇や物流コスト・人件費の増加など、当社グループを取り巻く経営環境は不透明な状況が続くものと予想されますが、2025年5月12日に公表した2026年3月期（2025年4月1日～2026年3月31日）の連結業績予想につきまして変更はありません。

以上

＜本件に関する報道関係の方のお問い合わせ先＞

昭和産業株式会社 企画部コーポレート・コミュニケーション室

TEL: 03-3257-2042 担当: 関口